

「ほっとスペース八王子」ニュース

ほっと

第9-10合併号

1995. 5. 29発行

定価30円

編集責任者 堀部 正
発行 編集部
連絡先 「ほっと」
八王子市台町四一四四二 明野ビル三〇号
電話・FAX 代表 多田 道夫
郵便振替 〇四六六七九六五
〇二一八〇七六二四六

オープニングセレモニー盛大に

「ほっとスペース八王子」ついに開所 運営委員会

五月二〇日八王子市安
市民センターで、午後一
時三〇分より二部構成で
オープニング・セレモ
ニーが催されました。代
表の多田からのあいさつ
にはじまって、「ほっと
スペース八王子」の顧問
を快く引き受けてくだ
さった八王子市議会議員
の大日向宏さんのあいさ
つ。続いて世話人となっ
てくれた全国金属機械日

待ちに待った「精神障害者 自身が運営する「より所」の開所

本機械工業支部副委員長のあいさつ。
第二部は「ヤングほっとスペース」と
「ほっとスペース八王子」女性部によ
るアトラクションで盛り上がりまし
た。

朝早くから、卸売市場への買出し
そしてパーティー料理のこしらえ

女性部と「ヤングほっとスペース」
を中心にパーティー料理のこしらえが
朝早くから行われました。支援の労働
組合の労働者の方々もお手伝いしてく
ださって、次々と料理が出来上がって



約60名の参加でオープニングセレモニー（5月20日）

行きます。パーティー用の飲み物も
ふんだんに用意されて、華やかさを
そえています。会場の飾り付けは女

(一頁からのつづき)

性部の皆さんがせっせとこの日のために作っておいたものです。残念な

がら二人の女性部員は調子を崩して入院中、一人は自宅療養中でした。

会場を爆笑の渦にした「ヤング」の寸劇、女性部のひと息「コーラス」

「ヤングほっとスペース」の創作爆笑



「ヤングほっとスペース」有志の参加による爆笑創作劇

笑劇は大うけでした。ヤングの桃

山桃源氏の台本で「シンデレラ」

と題する爆笑劇は、ガラスの靴ではなく、地下足袋が登場。会場を

笑いの渦にしました。また女性部

のひと息コーラスは、一瞬耳を疑

うような内容の「青い山脈」なら

ぬ若々しい顔も赤らめるほどの「青い

・・・」でした。

その後、参加してくださった60名

近くの皆さん全員の自己紹介を兼ねた

一分スピーチでした。都立多摩総合精

神保健センターの職員や八王子市社会

福祉協議会の職員をはじめ八王子の精

神病院の職員、養護学校の職員、三多摩のいくつかの作業所の職員、また朝日新聞のタウン紙に紹介されたこともあって、「朝日タウンズ」を



シンデレラさがしに地下足袋登場

みでの、「精神障害者」本人や家族連れの参加もありました。そして、

「ほっとスペース八王子」が2年前に活動を始めた当初から支援し、開所に向けても多額の拠金や賛同金を頂いた「障害者団体」や労働組合の労働者の方々の暖かい心のこもった

スピーチには本当に何とか成功させなければという想いを強くさせられました。

ややもすれば、この種の開所式は肩ヒジ張った、堅苦しいものになりがちなのだそうですが、私たちのセ

レモニーはそのような粋をはずしたごく自然な生き生きとしたものとして参加者に認めてもらえたのではないかと

思っています。このような考え方を今後も活かして、大変でしょうがボチボチと進めて行きたいと思っています。

「ほっと」を「精神障害者」の夢を実現する拠点に

二〇数年前「友の会」など「精神障害者」の患者会がはじめて「精神障害者」の解放のための運動を開始しました。しかし、なかなか地域や職場、学園における「精神障害者」に対する理解はまったくなく、というほど悲惨な状況でした。それどころか、学園では「いじめ」などで多くの子供たちが心を傷つけられ、「心のやまい」におちいり、また自

殺に追込まれたり、苦しめられてきました。また、学園をかううじて「いじめ」から脱出できたとしても、過労死を強制するほどの職場における長時間労働や出世をめぐる競争は多くの労働者を「心のやまい」に追込んできています。しかし、地域はそのような「心を病んでいる」私たちを受入れてくれるほどの優しさを持つてはいません。地域でなにか凶悪犯罪が起きると私た



3名の欠席でも存在感のある「青い・・・」女性部

ちを突き刺すような疑惑の目が向けられます。

このような中で、「心を病んだ」仲間を支えながら、私たち「精神障害者」が何の恐怖も持たないで安心して生活できる地域であって欲しい、社会全体に理解して欲しい、と社会に私たち自身がのりだしていこ

うとする「より所」が「ほっとスペース八王子」です。

いままで「精神障害者」の家族などの「健常者」によって運営されてきた「共同作業所」はありました。しかし「ほっとスペース八王子」は「精神障害者」自身の手になるもの



オープニングセレモニーを引き締めたバレン太鼓

です。二年前から月一回のレクレーションを中心にした「ほっとスペース八王子」から始つて、開所のための資金集めや「より所」運営も、またこの「ほっと」ニュースの原稿書き、編集、印刷、発行まで「精神障害者」を主体にした作業で進められてきました。

試験的に4月から「臨時開所」して運営してきましたが、どうやら無事1カ月維持することが出来ました。当初予算として五八二万円という大変な金額が必要です。支援者などの賛助会員をつのり、定期的な賛助金や行政の援助などでクリアしていきたいと思っています。現在は、東京都や八王子市に對して行政的に援助を求めて交渉中です。これも、私たち「精神障害者」自身が中心となつて進めています。もち



若々しい「ヤングほっとスペース」の面々

ろん、行政の援助だけでは私たちのやりたいことの財政的な保証は不十分なので、ぜひみなさまのご支援をお願いいたします。

花がまったく咲いていない花見もまた風流

—1995年4月1日花見会—



花も咲いていないのにどこ吹く風の「ほっとスペース八王子」の花見（95年4月1日）

今年恒例の高尾山の花見ではなく、時期的にかなり早めの富士森公園での花見となりました。「ヤング

ほっとスペース」の面々も参加して、桃山桃源の母堂の作製なるお重もあって、かなり盛り上がっていたと思われるます。それはお酒あり、カラオケあり、踊りあり、「花

が咲いていないのにもの好きだな」というアキレ顔の犬と一緒に散歩風情の女性やジョギング中の老若男女の方々を無視しての、しかもまっ昼間の盛り上がりであつたからです。その後、公園近くのファミリースペースで「ほっとスペース八王子」開所に向けての「準備

イノセント

望月 望

ああ、雨をしのげる屋根を持つ者はしあわせだ
春が来たのだ
(まぶしい緑)

本当の春が来るよう

私は祈る

冬を真に耐えた者が
春を喜べるのだ

『春は残酷な季節だ』

は有名なだ

いつか解き放たれるだろう

それまでも待てと言うのか友よ

今ある春を喜んでは駄目と言うのか

(私はバラが好きだ)

私は折ぶだろう、今ある春を単純に喜ぶことを

枯れた枝に咲いた花は無垢だ

無垢に希望がないというのか

(鉄格子からの白い手)

私は無垢を折ぶ

会」をもち、具体的に開所までどのように進めていくか、みんなで話し合いました。

いよいよ本格的に活動しだした「ヤングほっとスペース」

桃山桃源・葉月若葉・栗本欽一



「ほっとスペース
八王子」の力を借り
て出来た「ヤング

ほっとスペース」の面々で四月一六
日、カラオケ大会を行いました。場所
は「ほっとスペース八王子」で使った
八王子丸井の裏
手の「リユト
ン」でした。

「アサヒタウンズ」に掲載された記事写真を見ている「ヤングほっとスペース」
のメンバーは、四月一六日、カラオケ大会を行いました。場所は「ほっとスペース八王子」で使った八王子丸井の裏手の「リユトン」でした。「ヤングほっとスペース」のリーダーこと桃山桃源の駒木野ダイケア送別会を兼ねていた今回のカラオケ大会は二時から七時まで延々と続きました。途中からさらに二名参加して、異様な盛り上がりにな

りました。多田さんも途中から駆けつけてくれて、かけつけ一曲。

「ほっとスペース八王子」のことも話してくれたのですが、そのまま夜勤ということでカラオケの夢心地で帰っていきました。その後もドンドン盛り上がりすぎて、みんな何曲も歌いました。僕たちの「ヤダヨン」（愛称）がマンガの唄を歌っていたとき、「こんな唄は子供しか歌わないよ。ヤダヨン」と言っただけなのに、それなりに楽しく歌った後、歌い疲れたのかゴロンと横になっ

て寝てしまいました。

今回のカラオケ大会の目玉は「イーストエンド・プラス・マリ」です。いま流行のラップ「ダヨネー」です。もう一つは主役の桃山

（七頁につづく）

(六頁からつづく)

桃源が歌った「トンネルズ」の「フツフツフツでするんです」でした。この歌は「ヤングほっとスペース」のテーマソングに採用されたという噂です。

タバコが身体に悪いのは重々承知なのです。でも私は吸ってしまったのです。というのはまず、朝目がさめてから一服。これは眠剤でモウロウとしている頭を覚醒して

タバコを好きなだけ吸わせてとは言わないけれど

「Hさんのタバコ嫌い、そしてタバコを吸わない人が困るというのもよく分るのですが、「病」者にタバコを吸う人が多いわけー

堀川望

くれるから。しかも、安定させてくれる。それと「病」者は「病」気のためか、薬のためか、疲れやすいんです。それでひとまず一服、になってしまうのです。経済

とにかく、今回のカラオケ大会は多田さんと私とが望んでいたものだったので「田駄でナイトウ会」と言ってもいい会でした。

的にも負担が大きいことも分っているんです。麻薬のようなのでしょうか。ほんと、いけないと思うのに、吸ってしまうのです。ゴメンナサイ、嫌煙権の方々。



本当にタバコを吸う理由が「眠剤」、

「精神安定」、「薬」であれば

堀部正

「眠剤」が強くて吸わなければならぬのであれば「眠剤」を弱くしてもらえば。吸う理由が「精神安定」のためであれば、いま服用している「精神安定剤」があなたに合っていないのでは。「薬」のせいで疲れやすいからついつい吸ってしまうのであれば、主治医に相談して、「薬」の量を少なくしてもらおうか、薬を替えてもらえば。

結局、理由は自己暗示か、単なる気休めか、惰性か麻薬効果に過ぎないのでは。

本当に身体によくないと分っていて、止めようと思っているのであれば

(八頁につづく)

(七頁からのつづき)

ば、いつでも止められる。身体によ
くなくてもよいや、という面倒くさ
がり屋か自暴自棄が根本的な理由で
は。

もちろん、「精神障害者」には病
状に依じて一時的には吸わざるを得
ない時期があることは分りますが、

それを開き直るのではなく、身体によ
いことをするようにマイペースでもい
いから、ぼちぼち改善するように努力
することが必要だろうと思うのは、現
役の「精神障害者」の気持ちがあつて
いない、と言われるのでしょうか。

4、5月活動日誌

- 4・1 「ほっとスペース八王子」花見会
開所準備会第1回
10 八王子市障害者福祉課細井氏訪問
八王子市社会福祉協議会訪問
12 特定求職者雇用開発助成金申請
13 日本障害者雇用促進協会訪問
勉強会
14 大日向市議訪問
16 「ヤングほっとスペース」カラオケ大会
18 多岐田さん激励会
19 堀川さん生活保護申請
20 夕食会
開所準備会第2回
22 発起人会
23 夕食会
24 東京都障害者雇用促進協会
駒木野病院デイクア参加
開所準備会第3回
30 夕食会
5・1 三多摩メーデー参加
3 夕食会
5 発起人会
7 勉強会
「ヤングほっとスペース八王子」ミーティング
9 多岐田さん内科入院お見舞
アサヒタウンズ取材
11 アサヒタウンズ取材
14 勉強会
15 七尾福祉園分会訪問
都陣労組訪問
17 水泳会
日野療養園分会訪問
日の出福祉園分会訪問
夕食会
18 東京都社会福祉振興財団訪問
夕食会
19 多岐田さんお見舞
20 オープニングセレモニー
21 多岐田さん退院
勉強会
夕食会
22 水泳会
夕食会
23 昼食会、夕食会
26 朝日新聞取材
八王子市助成金申請
27 多岐田さん快気祝い
28 水泳会
勉強会
30 水泳会
31 運営委員会

6月レク活動予定

四日 「ヤングほっとスペース」
ボリリング大会 十時 スタート
十七日 「ほっとスペース八王子」
料理教室 十時 ミニデザート作り

編集後記

四、五月は「ほっとスペース八王
子」の開所準備のためにさまざま
な活動を行いました。全部この紙
面に書き入れると頁数がいくら
あっても書き足りないくらいで
す。

私たちの運動は、「あわてず、
あせらず、のんびりと」です。忙
しすぎると、また再発したり、誰
かにその負担が集中して、その方
の体調が崩れることになります。
みんなで支え合ってのんびりと進
めて行きましょう。